

井原市 市民活動センター

つどえ〜る通信

《発行所》
井原市市民活動センター
715-0019 井原市井原町352-1
Tel.0866-62-9090 (FAX兼)
www.ibara.ne.jp/~katudou/
E-mail:katudou@ibara.ne.jp
編集/NPO法人市民交流
ネットワーク井原

『自分のため。。 未来のために』

「ご近所クリエイター」 酒井保氏招き講演会



認知症を地域で支えようという趣旨のまちづくり講座が、つどえ〜ると井原市社会福祉協議会の主催で昨年十一月二十日、ご近所クリエイターとして広く活躍中の酒井保氏を招いて開かれ、福祉関係者ら約四十人が受講しました。

講座のタイトルは「認知症になっても安心して暮らせる〜支え合いの地域づくり」。酒井氏は

「『福祉の世話にはなりたくない』と思う人や、『助けて』と言えない人が多い。十年後、二十年後に笑顔で暮らせるように早い段階で自分たちのための福祉づくり、地域づくりを進めて欲しい」とどこと強調しました。

「地域力アップを」

講師に佐藤典子氏

つどえ〜る会
講演



つどえ〜るは三月二十七日、井原市出身で人材開発コンサルタンの佐藤典子氏「写真」を招き「第一回地域力アップのためのコミュニケーション講座」を開催します。

自治会や市民団体、職場等でネットワーク拡大

を目指す方には最適。
◇
◇
とき：3月27日
午後1時30分〜
会場：つどえ〜る
受講料：無料
申込：つどえ〜る
締切：3月20日

《佐藤典子氏》井原市出身。大阪外国語大学（現大阪大学）卒。ワシントン大学・大学院で、教育学修士号取得。米国CTI認定プロフェッショナル・コーチの有資格者。HSBC退職後、独立。人材開発コンサルタントとしてモチベーション・アップ研修などを提供。

ミニコミ紙作成支援

市民活動センターの指定管理者・NPO法人市民交流ネットワーク井原は、身近な情報を伝える手段として効果的なミニコミ紙の作成支援をホームページ同様、行うことになりました。

つどえ〜るが新企画

地域に根ざした市民活動であっても、広く一般に知ってもらわなければ意味がありません。それらを価値あるものとして伝えるのが広報マンの腕

の見せどころです。しかし、ミニコミ紙は事前の情報収集に始まり、取材及び原稿作成↓紙面のレイアウト↓校正↓印刷↓発行と、一連の



流れを確実にこなす必要があるため、何かと負担

が生じます。

つどえ〜るでは、市民活動のネットワークもなりがちな広報担当者の悩み解消や、問題解決に役立つ知識等を提供します。

また、ホームページ作成支援も引き続き行い、市民団体や自治会、公民館などの情報発信機能向上を願い、相談に応じています。

つどえ〜るNPO法人市民交流ネットワーク井原の関係者は「今はホームページと紙面を併用した情報伝達が主流。気軽に「ご相談下さい」と呼び掛けていきます。

活性化を図る

ワークショップ

<まちづくりの鍵>

見集約やコミュニケーションを深めることなどができます。地方自治分野では、市民同士の合意形成に至る手法として注目

ワークショップの効果として期待されるのは参加者同士の体験共有、意見表出（ブレインストーミング）、創造表現、意

法です。

人数に制限はありませんが、五十人位のグループとは、集団でアイデアを出し合うことにより、相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法です。

ワークショップにおける地域住民の声は多様。現場では、漠然と集まって話し合いを重ねても十分な進展がないため、ファシリテーターと呼ばれるコンサルタント業のプロが課題の整理や助言を行うケースが多いようです。

つどえ～る登録団体

[・印はNPO法人]

- 備中西商工会青年部美星支部
(代表 川上 直哉)
- ・まちづくり岡山ネットワーク
(代表 吉澤万千子)
- ・井原市福祉をよくする会
(代表 落合 清三)
- 樺の杜塾
(代表 佐藤 清)
- 鳥羽踊り保存会
(代表 尾山 立志)
- ・プラント
(代表 吉原 正敏)
- 井原町まちづくりの会
(代表 三宅 秀治)
- 新現役の会井原支部
(代表 森 岑生)
- ・はっぴいひろばとまとさん家
(代表 井上 咲子)
- ・井原はばたき会
(代表 中島 知子)
- 100万人のキャンドル
ナイトin井原駅実行委員会
(事務局 上田 勝義)
- 井原BBQ
(代表 細羽 宏子)
- 五味会
(代表 宮本 幸枝)
- ボランティアガイド井原
(代表 妙見迫有紀)
- 井原備中神楽保存会
(代表 森下規矩二)
- 倉掛自治連合会
(会長 倉橋 一郎)
- 岩崎おもちゃ病院
(代表 岩崎 勲)
- ・ビビット経ケ丸
(代表 鳥越恵治郎)
- 井原市文化協会洋画部
(部長 原田 晋作)
- 井原スポーツ少年団BBC
(代表 掛橋 浩之)
- ・市民交流ネットワーク井原
(代表 大坪 正廣)

活動発表に熱気



笑い拍手で沸いた北山ひまわり会のショー

ありがとう ボランティア交流会

井原市社会福祉協議会主催による「ありがとう！ ボランティア交流会」が芳井生涯学習センターで一月二十七日、福祉関係者約五百人を集めて開かれました。

開会にあたって井原市社会福祉協議会の久津間憲通会長は「人口減少と高齢化が進むなかで、福祉に対するニーズも多様化しており、どのようなネットワークを構築する

かが今後の課題。きょうはご近所福祉活動などに力を注いでおられる皆様方に楽しく過ごしていた

たくさん交流会です」などと挨拶。続いてステージには劇団たんぼ座をはじめと

《活動発表》

劇団たんぼ座
朗読ボランティアサークル あい
ザ・ももの会 (オカリナ演奏)
井原語りの会 わわわ
栄養ボランティアいばら
北山ひまわり会 (パフォーマンズ)
ひざかけキルトの会井原
平龍造さん (アコーディオン演奏)
マダムベティさん (講演)

《展示 & 販売》

芳井ふれあい作業所
井原市太陽の会作業所
井原はばたき会
はっぴいひろば・とまとさん家
井原市地域包括支援センター
社会福祉法人井原市社会福祉協議会

子どもサロンの一環

とまとさん家とんど&芋煮会

はっぴいひろば・とまとさん家が一月十五日、井原町桜橋上の河川敷でとんど・芋煮会(写真下)を開き、会員ら約四十人が参加しました。

世代間交流、地域で子どもを育てるといった目的

の子どもサロン活動の一環として企画したものです。

午前十時にとんどに点火され、持ち寄られた注連飾りなどが勢いよく燃え上がる中、参加者は無病息災を祈り、手作りの



豚汁やおにぎりで体を温めました。

する元気な団体が芝居や歌、活動発表やバラエティショーを繰り広げ会場を盛り上げました。

昼食タイムには、栄養ボランティアいばらが調理したカレーライスの無料サービスも。

最後は「笑っておもてなし ふれあいのまちづくり」と題した笑って健康元氣アップ講演会に移り、マダムベティさんがユーモアをたっぷり熱弁をふるいました。

■小田川河原の美化

井原町まちづくりの会(三宅秀治会長)が4月3日の桜まつりを前に2月27日、「小田川環境美化」の一環として、下記の日程で河原の清掃を行います。

◇ とき：2月27日(日) 午前9時～
※雨天の場合は3月6日

◇ 場所：小田川河原 桜橋下の中州
清掃：河原の草刈り、焼却
ゴミの清掃・撤去

◇ その他：軍手や草刈り諸道具は各自でご用意下さい

◇ 問合せ：井原公民館 電話 62-8478
◇ お願い：地域ボランティアの皆様には、ご協力を宜しくお願いいたします。

■この指とまれサミット

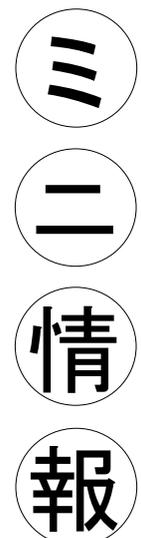
<井笠発! 『おらがまちを語ろう』この指とまれサミット>
岡山県井笠地域と県内外で地域の課題解決や理想実現に向けてがんばっている人たちが大集合!

◇ 日時：2月23日(日)
13:00～16:30

◇ 場所：笠岡市六番町1-10
笠岡市民会館

◇ 定員：100名
(定員になり次第締切)

◇ 対象：地域づくり・まちづくりへ興味や関心のある方
◇ 主催：岡山県ボランティア・NPO活動支援センター
◇ 窓口：つどえ～る (62-9090)



つどえ～るご利用メモ

- 【1階】使用無料
交流コーナー・ミーティングコーナー・情報コーナー・インターネットコーナー・作業コーナー・パソコンコーナー・展示コーナー・育児ルーム兼ミニ会議室
注) コピー印刷等は実費要
注) 本施設は公益的業務以外の目的には使用できません。詳しくは事務局へ
注) 倉庫の使用はご遠慮願います
注) ゴミは各自お持ち帰り願います
- 【2階】有料会議室 (机15・椅子30)
9:00～17:00 1時間 200円
17:00～21:00 1時間 300円
冷暖房は1時間 100円
- 【休館日】月曜日、祝日、年末年始
注) ただし月曜日が祝日の場合、翌日の火曜日は休館